

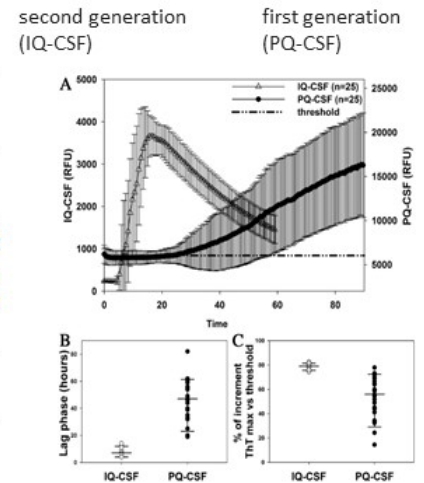
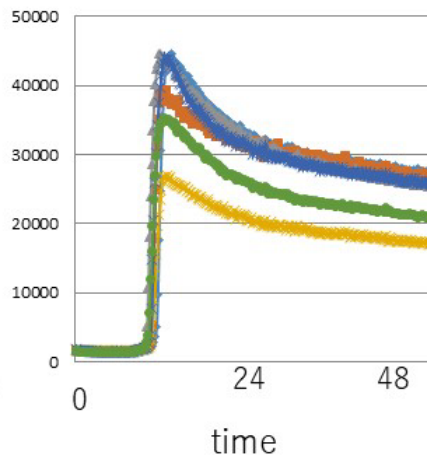
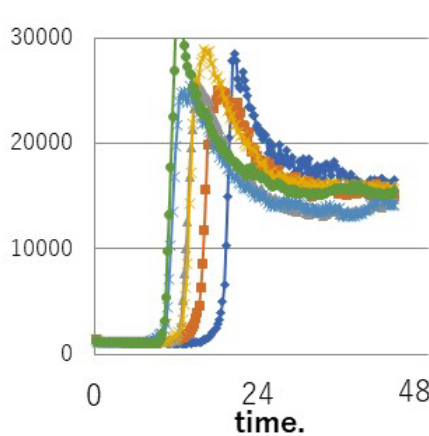
second generation RT-QUIC法の検討

研究分担者: 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 保健科学分野 佐藤 克也

プリオン病の first とsecond generation RT-QUIC法

first generation RT-QUIC

second generation RT-QUIC



- first とsecond generation RT-QUIC法ではほぼ違いはない。
- 多数例での検討が必要。
- 問題点はすでに偽陽性が今まで2倍。
- 陽性と陰性の基準をどうするのか再検討する必要がある

解説

1. first とsecond generation RT-QUIC法ではほぼ違いはない。
2. 多数例での検討が必要
3. 問題点はすでに偽陽性が今まで2倍。
4. 陽性と陰性の基準をどうするのか再検討する必要がある